

短頭種気道症候群とは

パグ、フレンチブルドッグ、シーズーなどのいわゆる「鼻ぺちゃ」の子やチワワ、ポメラニアンたちは『短頭種』と呼ばれています。可愛らしい特徴ではありますが、人為的な形態変化により空気の通り道が狭くなったりして、呼吸が正常に行えないような症状が現れます。

＜特徴＞

- 外鼻孔狭窄…鼻の穴がとても狭い
- 軟口蓋過長…口腔内上部にある硬口蓋に続く、軟らかい部分である軟口蓋が長く厚い。
- 気管低形成…気管が十分に形成されておらず、細い
- 反転喉頭小囊…喉のところの一部が、気道をふさぐように反転している
- 鼻道の解剖学的構造…鼻からの空気の通り道が小さい、狭い。

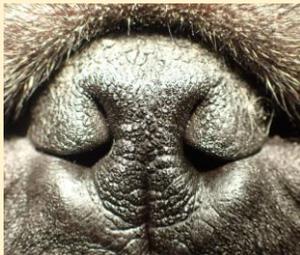
＜症状＞

- 呼吸をしている時にガーガー音が鳴る。
- 眠っている時にいびきをかく。
- 運動をしても疲れやすい。
- チアノーゼ(舌が紫色になる)
- 運動後失神することがある。
- 睡眠時無呼吸症候群

＜治療＞

根本的な治療のためには外科手術が必要になります。気管や喉の炎症を抑えるために抗生物質や消炎剤を使うこともありますが、一時的なものです。若いうちは症状があっても元気に見えますが、歳を重ねていくと呼吸に必要な筋肉が衰えて呼吸機能が低下します。体力があるうちに手術を検討することをお勧めいたします。

しかし一般的に短頭種は麻酔リスクが高く、若く元気な子でも決して安心できません。ご家族、獣医師とよく相談しましょう。



←外鼻腔狭窄の子です。鼻の穴がL字になっています。



手術をして鼻を切った後です。→

＜生活で気を付けていただくこと＞

✓ 太らせない

体重が増えると首回りや胸回りに脂肪が付き、一生懸命呼吸してもうまく息を吸えなくなってしまいます。

✓ 暑さに注意！

わんちゃんは呼吸によって体温を調節しますが、短頭種気道症候群の子はうまく熱を外に出すことができず熱がこもって容易に熱中症になります。

暑い日や運動後で、いつもよりガーガー音が酷い時はタオルにくるんだアイスノンを首に巻いてちょっとでも冷たい空気を吸えるようにしてあげましょう。命に関わることもありますので十分に気を付けてください。

